

令和8年度「青少年の主張大会」応募要領

部門	小学生の部	中学生の部	高校生・一般の部
応募資格	市内在住または在学の小学校・特別支援学校小学部4～6年生の児童	市内在住または在学の中学校・特別支援学校中学部・中等教育学校前期課程の生徒	市内在住または在学の ○高等学校・特別支援学校高等部・中等教育学校後期課程の生徒 ○中学校等卒業後3年以内の方
テーマ	ア 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など イ 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友達との関わりなど ウ テレビや新聞などで報道されている青少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など 上記のような内容で、心から思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、飾り気のない言葉でまとめたもの		
原稿	○小学生の部、中学生の部 5分間以内でスピーチ発表できる内容（A4判400字詰め原稿用紙縦書き2枚以上4枚以内※800字～1600字） ○高校生・一般の部 7分間以内でスピーチ発表できる内容（A4判400字詰め原稿用紙縦書き3枚以上5枚以内※1200字～2000字） ○1行目に題（タイトル）、2行目に学校名・学年、3行目に氏名、4行目から本文、としてください。 ○本人直筆、ワープロソフト（Word形式）作成どちらも可とする。 ※本人直筆（手書き）の場合は、HBより濃い鉛筆ではっきりと記入してください。 ○各原稿用紙欄外（各ページ右上）に氏名・ページ番号／枚数を記入する （例 4枚の場合 さいたま希望 1/4, 2/4, …） ○提出後、原稿の加筆及び修正は認めません。 ○応募原稿は返却いたしません。		
応募方法・提出先	【市内在学の方】 児童生徒の提出先：在籍学校へ提出。 ア 応募者は、在籍する学校が指定する日までに当該学校へ原稿を提出する。 イ 学校長は、学校内の応募作品から学校推薦作品（応募資格別4名以内）を選び、「子ども・青少年政策課」に提出する。その際は、「応募票（様式1）」を応募作品に添付し、「報告用紙（様式2）」とともに提出する。 【市内在住で市外在学の方等】 児童生徒の提出先：さいたま市子ども未来局子ども・青少年政策課へ提出 ※応募者が、在籍学校に応募の意思を伝えた上で、作品、「応募票（様式1）」を上記提出先に、持参または郵送で提出する。送料等は応募者負担とする。 さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども・青少年政策課 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL 048-829-1716（直通） FAX 048-829-1960 E-mail kodomo-seishonen@city.saitama.lg.jp		
期応限募	子ども・青少年政策課への提出〆切は 令和8年9月24日（木）必着 ※市内在学の方については、在籍学校へご確認をお願いします。		

【青少年の主張大会（スピーチ発表）】 令和8年12月20日（日） さいたま市産業文化センター ホール

※応募者全員に記念品を贈ります。

（令和5年度まで「青少年の主張大会記録集」に掲載していた応募者一覧は、令和6年度から掲載していません）

※本大会で表彰された方については、さいたま市ホームページに氏名・学校名・学年・題名・受賞内容・当日の映像が掲載されます。また、「青少年の主張大会記録集」に、氏名・学校名・学年・作品（作文の全文）・顔写真が掲載されます。

※青少年の主張大会（スピーチ発表）発表者に決定した場合は、Word形式で掲載原稿の作成をお願いします。

（詳細は、発表者に別に送付します。）

※本事業は、さいたま市教育委員会が実施する『自分発見！』チャレンジup さいたまのスタンプラリー対象事業となります。

「青少年の主張大会」 作文作成上のお願い

1 注意事項

- ☐ A4サイズの400字詰め原稿用紙に、縦書きで記入してください。
- ☐ 原稿は本人直筆、またはワープロソフト（Word形式）での作成も可とします。
（本人直筆の場合、HB以上の鉛筆ではっきりと濃く書いてください。）
- ☐ 原稿用紙の欄外に氏名・ページ番号／枚数を記入してください。
- ☐ 未発表、自作の作品に限ります。応募できるのは一人一作品のみです。

2 具体的な記入方法

- ☐ 1行目に「題名」、2行目に「学校名・学年」、3行目に「氏名」、4行目以降に「本文」を記入します。
- ☐ 題名は、3～4字目から記入します。長い場合は2行になっても構いません。
- ☐ 学校名と学年の間は1字空けます。長い場合は2行になっても構いません。
- ☐ 氏名は下を1～2字空けて記入します。姓と名の間は1字空けます。

3 採点に関わる記入のルール

- ☐ 段落を変える際には改行し、1字空けます。
- ☐ 読点（、）や句点（。）は1字として1マス使用します。次の行の冒頭にくる場合は、前の行の最後のマスの文字と一緒に書き入れます。または、最後のマスの下、欄外に書いても構いません。
- ☐ 拗音（小さな「ゃ」、「ゅ」、「ょ」）と促音（小さな「っ」）も1字として1マス使用しますが、次の行の冒頭にくる場合はそのまま記入し、前の行の最後のマスには書き入れません。
- ☐ 会話文にかぎ括弧（「」）を使用する場合は改行します。文末のかぎ括弧は句点（。）とともに1マスに記入します。
- ☐ 書名等には二重かぎ括弧（『』）を使用します。
- ☐ 数字は原則として漢数字を使用してください。
- ☐ アルファベットは原則として一マスに1字使用しますが、横書きで書く場合は、大文字を1マスに1字、小文字を1マスに2字記入します。

（例） 「SDGs」、「SAITAMA」

S	S
D	A
G	I
s	T

【ワードを使って作成する方へ】

- (1)ワードを開く
パソコンで「Microsoft Word」を開きます。
- (2)新しい文書を作成する。
ワードが開いたら、「新規作成」をクリックして、新しい文書を作ります。
フォントは、「MS 明朝」にしてください。
- (3)文書を原稿用紙にする
「レイアウト」をクリックし、「原稿用紙設定 原稿用紙」をクリックし、スタイルを「マス目付き原稿用紙」にする。そして、「ページ」を「横」にする。あわせて、「句読点のぶら下げを行う」にチェックを入れる。
最後に「OK」をクリックする。

書き忘れたり、間違いやすい箇所です。留意してください。

見 本

夏休みの思い出
 さいたま市立子ども小学校 五年
 さいたま 希望
 私の今年令和八年の夏休みは、とても楽し
 い思い出でいっぱいでした。特に、家族と一
 緒に行った海の旅行が印象に残っています。
 朝早く起きて、車に乗り込み、海へ向かいま
 した。車の中では、家族みんなで歌を歌った
 り、おしゃべりをしたりして、あつという間
 に目的地に着きました。
 海に着くと、青い空と広い海が目の前に広
 がっていて、とても感動しました。まずは、
 砂浜で遊ぶことにしました。私は、砂のお城
 を作ることが大好きなので、大きなバケツと
 シヤベルを持って、夢中になっ作り始めま
 した。お城の周りには、貝殻や小石を飾って、
 素敵なお城が完成しました。お父さんも手伝
 ってくれて、一緒に楽しい時間を過ごしまし
 ました。最後に砂浜に「sunshine」と書きました
 その後、海に入ることにしました。最初は

 20×20

句読点（「。」や「、」）が次の行の冒頭に来る場合は、前の行の最後のマス内かマス下を書く。

令和
8年度

「青少年の主張大会」作品応募票

※この応募票に必要事項を記入の上、応募作品に添付してください。

※児童生徒の皆さんは、学校の先生を通して、ご応募ください。

(市外の学校に在学等の方は、さいたま市ホームページの要項、
要領をご覧ください。)

学 校 名		応募者学年・組
	電話番号 ()	年 組
(ふりがな) 担当教諭氏名		
(ふりがな) 応募者氏名		
(ふりがな) 題 名		
応募者住所	〒 ※学校から応募する場合は、記載不要です	
電話番号	() ※学校から応募する場合は、記載不要です	

※応募者全員に記念品を贈ります。

※本大会で表彰された方については、さいたま市ホームページに氏名・学校名・学年・題名・受賞内容・本大会当日の映像が掲載されます。また、「青少年の主張大会記録集」に、氏名・学校名・学年・作品(作文の全文)・顔写真等が掲載されます。

※個人情報とは、本事業のためにのみ利用するものとし、その他の目的には使用いたしません。

※本事業は、さいたま市教育委員会が実施する「『自分発見!』チャレンジupさいたま」のスタンプラリー対象事業となります。

応募先

さいたま市 子ども未来局 子ども育成部 子ども・青少年政策課

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

Tel : 048-829-1716